



まちの話題 Topics in the Town



イベント
フォトギャラリー

4月

小波津区 旗頭リニューアル

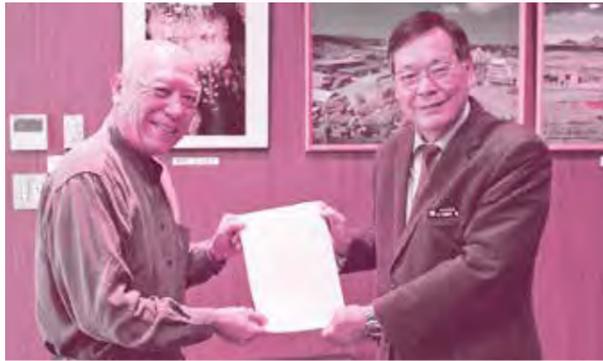


いとかずよしあき

小波津伝統芸能保存会(糸数善昭会長)は令和元年度地域活性化助成事業を活用し、戦後3代目となる旗頭を新調しました。旗頭制作は昨年11月よりスタートし、この4月に大人用と子ども用の計4基が完成しました。糸数会長は「ウーゾーシなどの繁忙期と制作時期が重なり時間がかかったが、区の旗頭の歴史や構造、作り方を学べた。旗以外は区民の手作りで、地域の人材の豊富さと凄さを感じた。今後は、旗頭の新調を機に担い手を育成し、地域の豊歳と繁栄を願う伝統文化を継承していきたい」と語りました。新しい旗頭は今年8月のウマチー綱と大綱引きでお披露目されます。

4月
15日

コミュニティ助成事業決定通知式 津花波自治会



(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業「令和2年度コミュニティ助成事業」の助成団体に津花波自治会(米山稔自治会長)が決定し、通知式が町役場で行われました。

米山会長は、「今回エアコンなどの整備をすることで、熱中症の心配なく敬老会など地域の行事やサークル活動などが行えるようになることが嬉しい。公民館への来館者の増加や各サークル活動が活発になることで、地域コミュニティ活動の活性化につながる」と笑顔を見せました。



このころ、稲作や麦、粟作が普及し、稲作に適したジャージャーガル土壌が分布する。しかし、佐敷の尚巴志が三山を統一すると、北山征服で功績をあげた護佐丸が読谷・座喜味グスクから中城グスクへ移ります。そして勝連グスクの阿麻和利も、その勢力を大きく伸ばしてました。第一尚氏と、護佐丸、阿麻和利は、中城湾をのぞむ東海岸を拠点として対峙していたのです。

西原の歴史をさかのぼると、貝塚時代以前の遺跡が少なく、粘土質のジャージャーガル土壌が広がる西原平野は、当時生活するのに不便なジメジメとした湿地帯だったと考えられています。琉球が鼎立していたグスク時代、北山・今帰仁、中山・浦添、南山・糸満はそれぞれ石灰岩台地上を拠点とし、中国をはじめとする対外貿易などによって力を強めていきます。



尚巴王即位550年記念 金丸の領地・西原と中城湾

中城湾沿いには、水田地帯が広がっていたと考えられています。15世紀、琉球に漂着した朝鮮人の記録には、沖縄島で二期作が行われていたと記されています。1年に2度収穫される二期作の普及で、中城湾沿いに広がる平野の生産力は高まり、当時の社会に君臨した英雄たちの経済的基盤を作っていたとも考えられています。

一方、尚巴志が浦添から首里に城を移した後、第五代目尚金福王の跡目を争って、1453年息子の志魯と弟の布里が内乱を起こします。その結果首里城は焼失し、ふたりとも戦死してしまいます。1454年、仕えていた越來王子が尚泰久王として即位すると、金丸(後の尚巴王)は、西原間切内間の領主となり、中城湾に広がる西原平野を手に入れました。さらに金丸は、那覇港の御物城の貿易品管理(貿易長官)や、中国との朝貢貿易の担い手である久米村と那覇の行政長官をつとめるようになり、権力者の地位を着実に築いていくようになります。

問い合わせ
文化課文化財係
944-14998

平成31年度

西原町

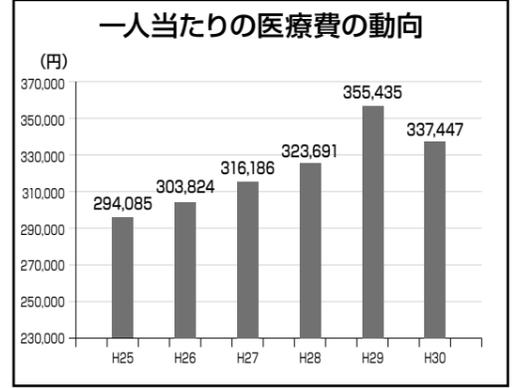
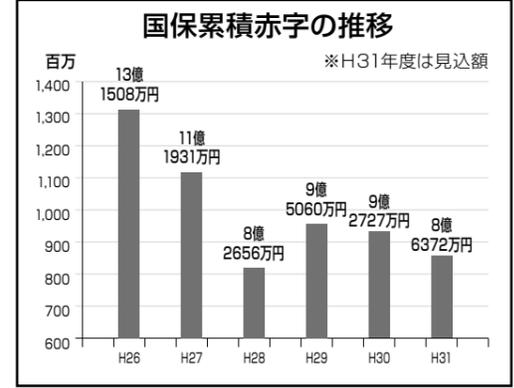
国保財政について

厳しい状況の国保累積赤字!

国保会計では、平成16年度から平成30年度まで連続の赤字となり、平成31年度決算においては累積赤字が約8億6千万円の見込みとなっております。国保の県広域化に伴い、計画的に累積赤字の解消を図らなければならず、厳しい財政状況が続いています。

一人当たり医療費も増加傾向!

本町の国保加入者一人当たり医療費は、平成29年度と平成30年度を比較すると約1万8千円の減額となっておりますが、これまでと比較すると依然として増加傾向が続いています。



なぜ国保は赤字なの?

国保会計の赤字は平成16年度から発生し始め、累積赤字も平成25年度には13億円を超えました。これまでも医療費抑制の取り組みや一般会計からの赤字補てんなどにより累積赤字の解消を図ってきましたが、まだまだ厳しい状況となっております。また、近年は急速な高齢化や重症化による医療費などの増加が続いているため、予断を許さない状態です。

収入と支出のギャップ解消に向けた町の主な取り組み

- ① 診療報酬明細書(レセプト)の内容点検強化
- ② 適正な保険税率に向けた見直し及び保険税の収納率向上のための徴収強化
- ③ 医療費データ分析に基づく保健事業の実施

- ・特定健康診査...受診率を高める取り組み、とりわけ若年層の受診勧奨を図る
- ・特定保健指導...メタボリックの解消に向けた取り組みに力を入れる
- ・虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の新規患者数を10%減少させる
- ・特定健診受診率の実績が顕著な自治会に対して報奨授与の実施
- ・健康ポイント事業を実施し、ポイント達成者に抽選でさまざまな特典を進呈する



累積赤字
8億6千万円

あなたの健康と家計のためにできること

① 生活習慣を改善し、生活習慣病を予防しましょう!

日頃の生活習慣を客観的に見直し改善することで、大きな病気の予防につながります。また、適度な運動を続けることでご自身の健康維持、医療費の削減にもつながります。また、年に一度は健康診断を受け、疾病の早期発見に努めましょう。

② 重複受診をやめましょう!

度重なる検査や注射・投薬の重複で体に負担がかかり、かえって症状が悪化してしまう恐れがあり、医療費の負担も大きくなります。

③ 家計に優しいジェネリック医薬品を利用しましょう!

主成分や効き目が同等で低価格のジェネリックは、国保の医療費削減だけでなく家計にも優しい薬です。積極的に利用しましょう。

【お問い合わせ】 福祉部 福祉保険課 国民健康保険係 ☎098-911-9163